

## 個人情報保護に対する取り組み

健康保険組合では、資格・給付情報や診療記録をはじめ、被保険者や被扶養者のみなさんに関する個人情報を扱っています。

個人情報の取り扱いには、常に細心の注意を払っていますが、平成 17 年 4 月からは個人情報保護法が全面施行され、個人情報を取り扱ううえで遵守すべき基準等が明確になっています。

そこで、健康保険組合が個人情報の保護にどのように取り組んでいるか、その概略をお知らせします。ただし、例外的な規定などもありますので、詳しい内容につきましては、お問い合わせください。

<b>1. 利用目的の特定・目的外の利用制限</b>
個人情報を取り扱うときは利用目的をできる限り特定します。 あらかじめ本人の同意がなければ、それ以外の目的で利用することはありません。
<b>2. 利用目的の通知・公表</b>
個人情報を取得するときは、本人への通知またはパンフレットやホームページなどで公表することにより、利用目的をお知らせします。
<b>3. 個人情報の適正な取得・個人データ内容の正確性の確保</b>
不正な手段で個人情報を取得することはありません。また、取得した個人データは、利用目的の達成に必要な範囲内で、できるだけ正確性を保つようになっています。
<b>4. 安全管理措置および職員・委託先の監督</b>
個人情報保護に関する規程を整備、公表するとともに、安全管理に努めています。また、個人情報を扱う職員および業務委託先を適切に監督しています。
<b>5. 個人データの第三者への提供の制限</b>
原則として、本人の同意を得ることなく、個人データを第三者へ提供することはありません。
<b>6. 個人データの開示、訂正、利用停止</b>
本人から個人データの開示が求められたときや、訂正・利用停止等の求めが適正に行われたときは、原則としてそれに応じます。また、苦情にも適切かつ迅速に対応します。